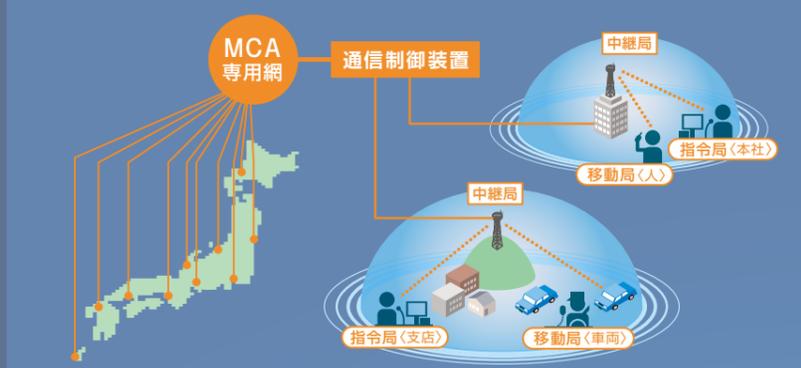


## MCA無線とは

MCA無線とは、複数の通信チャンネルを多数の利用者が共用することで、電波の有効利用と利便性を実現した業務用移動通信システムです。

800MHz帯の電波を使用した業務用移動通信システム mcAccess e (エムシーアクセスイー) は、自営の業務用無線で唯一、北海道から沖縄までのワイドなエリアを実現し、自治体の防災無線や企業の危機管理・BCP用通信システムも、低コストで構築できます。



### 指令局機器

無線端末にバッテリー電源を内蔵した指令局です。3ウエイ設計なので非常時にも抜群の機動性を発揮します。

### 車載機器

音声通話だけでなく、画像、ファイル伝送、GPSなど、快適なデータ通信を行うことが可能です。

### 携帯機

18時間の運用可能なバッテリーを搭載。野外利用を考慮してJIS7級(防浸)を備えました。複信モードを搭載し多彩な通信方法で利用可能です。

## 24時間 365日 万全の監視体制



一般財団法人移動無線センターの監視センター(東京都新宿区)では、MCA無線を快適にご利用いただけるように、24時間365日休むことなく、有人による監視業務を行なっております。万が一、首都圏で大規模な震災等が発生し監視できない状況が発生した際には、大阪の監視センターに監視システムの統制機能が切り替わり、皆様に安定したMCA無線のサービスをご提供します。

### 〈中継局点検の実施〉

中継局設備の安定稼働のために、計画的に各設備の点検を実施しています。また、震度5強以上の地震の発生や大型台風などが通過した後は、その周辺の中継局において通信の疎通確認及び空中線、局舎等の点検を実施し、平常時から通信サービスの安全性と信頼性の向上のために取り組んでおります。

### 〈耐震性に優れた中継局〉

一般財団法人移動無線センターが管理するMCA無線の中継局は全国で114箇所。中継局の鉄塔と局舎は1981年以降の新耐震基準に基づき設計、建設されると共に法令に基づいた耐震診断を実施しています。

### 〈非常用発電装置〉

万が一、停電があっても安定した無線通信サービスをご提供するために、中継局に非常用発電装置を備えています。(稼働時間は中継局により異なります) また非常用発電装置の定期自動運転による起動確認及び月次、年次点検を実施しています。



<http://www.mrc.or.jp/>

一般財団法人 移動無線センター 事業本部

〒163-1034 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー34F  
Tel.03-5323-5510 Fax.03-5323-5532

北海道センター 〒060-0061 札幌市中央区南1条西5-20 郵政福祉札幌第1ビル8F  
Tel.011-222-7291 Fax.011-231-6309

東海センター 〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル23F  
Tel.052-581-2461 Fax.052-569-1700

東北センター 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-15-1 ルナール仙台14F  
Tel.022-265-2205 Fax.022-265-2257

近畿センター 〒541-0053 大阪市中央区本町1-4-8 エスリードビル本町13F  
Tel.06-6271-7123 Fax.06-6271-0335

関東センター 〒163-1034 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー34F  
Tel.03-5323-5510 Fax.03-5323-5532

北陸事務所 〒920-0031 金沢市広岡1-5-23 金沢第一ビル6F  
Tel.076-231-0082 Fax.076-231-0084

信越事務所 〒951-8061 新潟市中央区西堀通6番町866 NEXT21ビル13F  
Tel.025-226-5566 Fax.025-226-5100

中国センター 〒730-0806 広島市中区西十日市町9-9 広電三井住友海上ビル8F  
Tel.082-232-8484 Fax.082-232-8883

沖縄事務所 〒900-0033 那覇市久米2-2-20 大同火災久米ビル8F  
Tel.098-869-0438 Fax.098-869-0478

九州センター 〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡11F  
Tel.092-725-8811 Fax.092-725-6066



# 中央省庁・ 関連機関における MCA無線の利用

MCA無線は、阪神淡路大震災・東日本大震災・熊本地震などの災害現場において、救援活動や復旧作業に貢献した無線システムです。安定した通信サービスは信頼性の高い無線として中央省庁や関連機関において評価され、首都直下地震対策用の通信手段としてMCA無線の導入が進んでいます。



一般財団法人 移動無線センター

# 立川広域防災基地周辺における 中央省庁の災害対策本部設置準備訓練に協力

内閣府（防災担当）では、政府業務継続計画（首都直下型地震対策）や防災に関する諸施策等を踏まえ、関係省庁等と連携して立川広域防災基地周辺における中央省庁の災害対策本部の設置準備訓練を実施しました。携帯電話、IP無線は使えないことを想定し、各府省庁はMCA無線を有効活用。立川市代替庁舎への移動中もMCA無線で情報共有を図り高い評価を得ました。

## ■実施日

2017年10月4日（水）

## ■訓練想定

発災時間：10月3日（火）午前10時頃 首都直下地震 東京湾北部地震  
地震規模：マグニチュード7.3、最大震度7

## 〈参加機関〉

内閣官房、内閣府、宮内庁、警察庁、金融庁、消費者庁、総務省、消防庁、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、国土地理院、気象庁、海上保安庁、環境省、防衛省、原子力規制庁（計22機関）

## 〈連携機関〉

一般財団法人移動無線センター、警視庁、立川市役所、国立研究開発法人情報通信研究機構、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所、NTT未来ねっと研究所

## 災害時の通信構成例



災害時の通信手段としてMCAを導入することにより、地方支分部局、都道府県など関係団体間での連絡が可能です。包括連携協定を締結した機関、大手運輸企業など緊急支援助物資輸送対応における情報共有もできます。MCA無線は、広域なエリアを確保し、グループ化することにより迅速な情報伝達が可能です。

約24時間後

10/4 9:30

移動決定

首都全域に被害拡大のため立川代替庁舎へ

10/4 9:45

代替庁舎受入要請

ここでMCA無線

各省災対 ↔ 立川代替庁舎担当

10/4 9:50

使用可能道路、被害状況の連絡要請

内閣府 ↔ 各省災対

10/4 9:55

立川広域防災基地の被害情報提供

ここでMCA無線

立川市 ↔ 内閣府

10/4 10:00

設営班・リエゾン出発

10/4 10:50

受入施設の確認

ここでMCA無線

駐車場カギ受領 設営班 ↔ 立川代替庁舎担当

10/4 11:05

ルート変更指示

ここでMCA無線

火災による通行止め 内閣府 ↔ 設営班

10/4 11:30

立川市内検問所通過連絡

ここでMCA無線

内閣府 ↔ 設営班・リエゾン・各省災対

10/4 13:00

代替災害対策本部設置準備開始

ここでMCA無線

内閣府 ↔ 設営班・リエゾン・各省災対

- 各省庁の移動
- 代替庁舎間における非常時通信訓練

訓練で使用されたMCA無線機

内閣府災害対策本部・予備施設

立川広域防災基地

先遣隊（設営班・リエゾン等）

- 緊急通行標章の受領指示
- 移動中の指示・報告・情報共有
- ルート変更・指示による迂回

● 到着時間の連絡

● 車両駐車場の指示

中央省庁情報共有